

再評価結果（平成25年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：三浦 真紀

事業名 一般国道57号 <small>たての</small> 立野拡幅	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 九州地方整備局																																				
起終点 起点：熊本県阿蘇郡南阿蘇村赤瀬 終点：熊本県菊池郡大津町瀬田		延長 6.0km																																				
事業概要 国道57号立野拡幅は、国道57号の交通渋滞の緩和と国際観光拠点である阿蘇地域の活性化に寄与する事業である。																																						
S52年度事業化	H一年度都市計画決定	S54年度用地着手																																				
全体事業費 約178億円		事業進捗率 71%																																				
計画交通量 21,100～25,600台/日		供用済延長 3.6km																																				
費用対効果分析結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">B/C</td> <td style="text-align: center;">総費用</td> <td style="text-align: center;">総便益</td> <td style="text-align: center;">基準年</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(事業全体)</td> <td style="text-align: center;">(残事業)/ (事業全体)</td> <td style="text-align: center;">(残事業)/ (事業全体)</td> <td style="text-align: center;">平成24年</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1.5</td> <td style="text-align: center;">41/235億円</td> <td style="text-align: center;">160/359億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(残事業)</td> <td style="text-align: center;">(事業費：35/215億円)</td> <td style="text-align: center;">(走行時間短縮便益：159/344億円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3.9</td> <td style="text-align: center;">(維持管理費：6.4/19億円)</td> <td style="text-align: center;">(走行経費減少便益：-2.5/6.0億円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">(交通事故減少便益：3.8/9.0億円)</td> <td></td> </tr> </table>	B/C	総費用	総便益	基準年	(事業全体)	(残事業)/ (事業全体)	(残事業)/ (事業全体)	平成24年	1.5	41/235億円	160/359億円		(残事業)	(事業費：35/215億円)	(走行時間短縮便益：159/344億円)		3.9	(維持管理費：6.4/19億円)	(走行経費減少便益：-2.5/6.0億円)				(交通事故減少便益：3.8/9.0億円)		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">【事業全体】交通量</td> <td style="text-align: center;">B/C=1.3～1.8(交通量 ±10%)</td> <td style="text-align: center;">【残事業】交通量</td> <td style="text-align: center;">B/C=3.3～4.3(交通量 ±10%)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">事業費</td> <td style="text-align: center;">B/C=1.5～1.6(事業費 ±10%)</td> <td style="text-align: center;">事業費</td> <td style="text-align: center;">B/C=3.6～4.2(事業費 ±10%)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">事業期間</td> <td style="text-align: center;">B/C=1.5～1.6(事業期間 ±20%)</td> <td style="text-align: center;">事業期間</td> <td style="text-align: center;">B/C=3.8～4.0(事業期間 ±20%)</td> </tr> </table>	【事業全体】交通量	B/C=1.3～1.8(交通量 ±10%)	【残事業】交通量	B/C=3.3～4.3(交通量 ±10%)	事業費	B/C=1.5～1.6(事業費 ±10%)	事業費	B/C=3.6～4.2(事業費 ±10%)	事業期間	B/C=1.5～1.6(事業期間 ±20%)	事業期間	B/C=3.8～4.0(事業期間 ±20%)
B/C	総費用	総便益	基準年																																			
(事業全体)	(残事業)/ (事業全体)	(残事業)/ (事業全体)	平成24年																																			
1.5	41/235億円	160/359億円																																				
(残事業)	(事業費：35/215億円)	(走行時間短縮便益：159/344億円)																																				
3.9	(維持管理費：6.4/19億円)	(走行経費減少便益：-2.5/6.0億円)																																				
		(交通事故減少便益：3.8/9.0億円)																																				
【事業全体】交通量	B/C=1.3～1.8(交通量 ±10%)	【残事業】交通量	B/C=3.3～4.3(交通量 ±10%)																																			
事業費	B/C=1.5～1.6(事業費 ±10%)	事業費	B/C=3.6～4.2(事業費 ±10%)																																			
事業期間	B/C=1.5～1.6(事業期間 ±20%)	事業期間	B/C=3.8～4.0(事業期間 ±20%)																																			
感度分析の結果 【事業全体】交通量 B/C=1.3～1.8(交通量 ±10%) 【残事業】交通量 B/C=3.3～4.3(交通量 ±10%) 事業費 B/C=1.5～1.6(事業費 ±10%) 事業費 B/C=3.6～4.2(事業費 ±10%) 事業期間 B/C=1.5～1.6(事業期間 ±20%) 事業期間 B/C=3.8～4.0(事業期間 ±20%)																																						
事業の効果等 ①交通混雑の緩和 ・慢性的な渋滞の緩和・解消 ②観光支援 ・観光誘致圏の拡大や周遊観光ルートの形成 ③救急医療活動の支援 ・阿蘇地域から第3次救急医療施設(熊本セントラル病院、熊本赤十字病院)までの救急搬送を支援 ・救急医療活動のアクセス時間の短縮 ④地域産業の支援 ・輸送コストの低減や製品生産スケジュールのリスク回避・低減などを支援する物流ルートとしての機能向上 ・農産品・畜産品の輸送コストの低減や販売市場拡大などを支援する物流機能向上																																						
関係する地方公共団体等の意見 ・大津町をはじめとする関係2市5町3村の首長等で構成される国道57号整備促進期成会より毎年早期整備の要望を受けている。(平成23年11月)																																						
県知事の意見 今回意見照会のありました一般国道57号立野拡幅に関する国の「対応方針(原案)」案の「継続」について、異論はありません。 本路線は、国際的な観光地である阿蘇地域と熊本市を結び観光、経済、産業を支える大動脈となっています。さらに、本県では「幸せ実感くまもと4カ年戦略」において、九州におけるハブ機能の強化のために取り組む施策として位置付けており、一日も早い完成供用を切望しているところです。 今後とも、なお一層の整備推進をお願いします。																																						
事業評価監視委員会の意見 審議の結果、事業継続																																						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・人口、自動車保有台数は横這いもしくは増加傾向にある。 ・国道57号の交通量は横這い傾向にあるが、依然として混雑度(H22:1.85)は高い。																																						
事業の進捗状況、残事業の内容等																																						

平成23年度末の事業進捗率は、事業費ベースで約71%であり、そのうち用地進捗率は約95%に達している。
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等
地元や関係機関との協力体制のもと、平成26年度の1.5km区間供用に向けて引き続き工事促進を図っていく。

施設の構造や工法の変更等
・擁壁基礎部の良質土置換え及び軽量盛土への変更による増加【約11.4億円】
・橋梁形式の変更による増加【約8億円】
・アンカー工法の変更による減【約0.4億円】

対応方針 事業継続
対応方針決定の理由
以上、事業の効果、事業評価監視委員会における審議、知事等の意見を踏まえると、事業の必要性、重要性は高いと考えられる。



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。